

2021年9月16日

記者発表資料

大阪経済記者クラブ会員各位

大阪商工会議所
公益社団法人 関西経済連合会

【問合先】大阪商工会議所
総務企画部 企画広報室 永長・堤
TEL：06-6944-6304

「第83回経営・経済動向調査」結果について

<調査概要>

- ◆調査目的 大阪商工会議所と関西経済連合会は、会員企業の景気判断や経営の実態について把握するため、四半期ごとに標記調査を共同で実施している。
- ◆調査期間 2021年8月18日（水）～9月2日（木）
- ◆調査対象 1,557社（大阪商工会議所・関西経済連合会の会員企業）
- ◆調査方法 調査票の発送・回収ともにファクシミリおよびメール
- ◆有効回答数 370社（有効回答率23.8%）

【調査結果の特徴】

1 国内景気について（単数回答）

～調査開始以来初の11期連続マイナス。先行きは改善を見込む

- 2021年7～9月期における国内景気のBSI値（「上昇」回答割合－「下降」回答割合）は▲14.4とマイナス圏を推移し、2001年1～3月期の調査開始以来初の11期連続マイナス。
- 先行き10～12月期はBSI値7.8とプラスに転じ、2022年1～3月期もBSI値19.2とプラス幅が拡大するなど、先行きの景況感は改善が続く見込み。
- 規模別では、足もと7～9月期は大企業でBSI値▲7.1と3期連続のマイナス。中小企業はBSI値▲20.7と11期連続のマイナス。

2 自社業況について（単数回答）

～3期ぶりのプラス。先行きは改善を見込む

- 2021年7～9月期における自社業況について、BSI値は0.5と、3期ぶりのプラス。
- 先行き10～12月期はBSI値11.5、2022年1～3月期もBSI値12.3と2桁のプラスとなり、先行きの業況は改善が続く見込み。
- 規模別では、足もと7～9月期は大企業でBSI値が7.6と3期ぶりのプラスに転じた。一方、中小企業はBSI値▲5.6とマイナス圏を推移。

3 新型コロナウイルス感染症拡大前と比較した売上水準について

(1) 2019年7～9月期と比較した現在の売上水準 (単数回答)

～5割超の企業が減少。企業規模により状況に差がみられる

- 2019年7～9月期（新型コロナウイルス感染症拡大前）と比較した現在の売上水準について尋ねたところ、5割超（52.4％）の企業が減少と回答。一方、2割強（23.0％）の企業は、増加と回答。
- 規模別では、減少との回答割合が、大企業で4割超（41.3％）、中小企業では6割超（62.1％）となった。また、増加との回答割合は、大企業で3割超（30.8％）、中小企業では1割台半ば（16.2％）で、企業規模により状況に差が見られる。
- 業種別では、減少との回答割合が、製造業で4割台半ば（46.7％）、非製造業で5割台半ば（55.8％）となった。また、増加との回答割合は、製造業では3割弱（29.2％）、非製造業では2割弱（19.3％）となった。

4 原材料・資源価格の高騰、物流コスト上昇の影響について

(1) 経営への影響について (単数回答)

～「悪影響がある」企業が3社に2社（「大きな悪影響がある」、「少し悪影響がある」の合計）

- 原材料価格（非鉄金属、鋼材、木材等）や資源価格（原油、天然ガス、鉄鉱石等）の高騰による仕入れコストの上昇、物流コスト等の上昇の経営への影響について尋ねたところ、「大きな悪影響がある」と回答した企業は2割（20.0％）、「少し悪影響がある」は4割台半ば（44.6％）となり、合わせて3社に2社（64.6％）が「悪影響がある」と回答。
- 規模別では、中小企業で「悪影響がある」と回答した企業が7割強（73.2％）に上り、大企業（54.7％）に比べ、「悪影響がある」との回答割合が高い。
- 業種別では、製造業で「悪影響がある」と回答した企業が9割弱（87.6％）に上り、非製造業（51.1％）に比べ、「悪影響がある」との回答割合が高い。

(2) 価格転嫁の状況について （「悪影響がある」と回答した企業239社、単数回答）

～十分に転嫁できていない企業が7割超

- 原材料・資源価格の高騰、物流費の上昇分の価格転嫁の状況について尋ねたところ、「ほとんど転嫁できていない」（33.1％）、「少ししか転嫁できていない」（23.4％）、「半分程度しか転嫁できていない」（15.5％）を合わせて7割超（72.0％）が十分に転嫁できていないと回答。
- 他方、「ほぼ転嫁できている」との回答は2割弱（18.8％）。

<添付資料>

- ・資料1 「第83回経営・経済動向調査」結果概要
- ・資料2 「第83回経営・経済動向調査」結果集計表

以上

第83回経営・経済動向調査

大阪商工会議所 公益社団法人 関西経済連合会

<目次>

1. 国内景気	2
2. 自社業況 総合判断	3
3. 自社業況 個別判断	4
4. 新型コロナウイルス感染症拡大前と比較した売上水準について...	6
5. 原材料・資源価格の高騰、物流コスト上昇の影響について	7
参考 (BSI値の推移)	9
参考 (国内景気判断と自社業況判断の推移)	10

<概 要>

➤調査対象：大阪商工会議所・関西経済連合会の会員企業 1,557社

➤調査時期：2021年8月18日～9月2日

➤調査方法：調査票の発送・回収ともFAXによる

➤回答状況：370社（有効回答率23.8%）（大企業：172社、中小企業：198社）

企業区分は、中小企業基本法に準拠し、次を中小企業とする。

（製造業他：資本金3億円以下、卸売業：資本金1億円以下、小売業・サービス業：資本金5千万円以下）

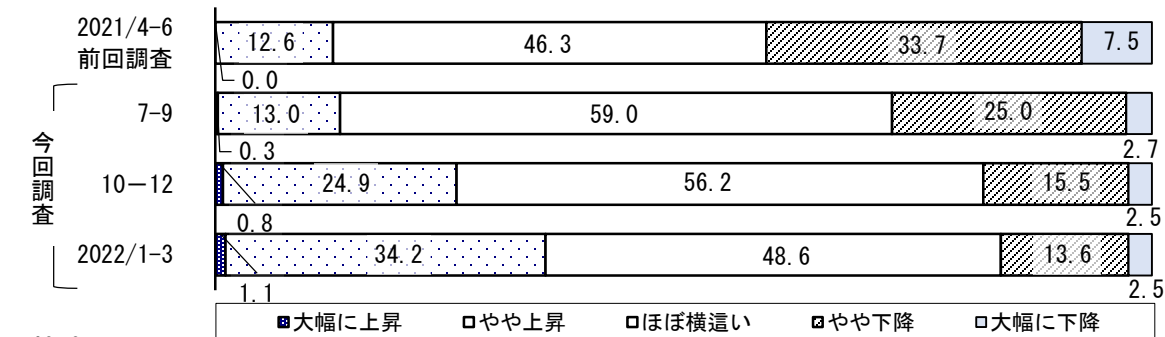
➤ 規模・業種別回答状況：

製造業				非製造業			
	大企業	中小企業	計		大企業	中小企業	計
食料品	4	3	7	卸売業	20	49	69
繊維工業・製品	3	2	5	小売業	10	9	19
パルプ・紙製品	2	5	7	出版・印刷	0	6	6
化学工業	8	8	16	建設業・各種設備工事	20	21	41
鉄鋼	3	6	9	不動産業	7	7	14
非鉄金属・金属製品	11	11	22	運輸・通信業	5	11	16
一般機械器具	4	5	9	金融・保険業	11	0	11
電気機械器具	7	6	13	電気・ガス・熱供給・水道業	1	1	2
輸送用機械器具	6	2	8	サービス業	34	21	55
精密機械器具	1	2	3				
その他製造業	15	23	38				
計	64	73	137	計	108	125	233

※グラフの数値は、端数処理（四捨五入）の関係で、文章の数値と一致しないことがあります。

1. 国内景気

ー調査開始以来初の11期連続マイナス。先行きは改善を見込むー



<足もと>

2021年7～9月期における国内景気は、前期と比べ「上昇」と見る回答が13.3%、「下降」と見る回答は27.7%。

この結果、BSI値（「上昇」回答割合－「下降」回答割合、以下同じ）は

▲14.4とマイナス圏を推移し、**2001年1～3月期の調査開始以来初の11期連続マイナス**。

<先行き>

先行き**10～12月期はBSI値7.8**とプラスに転じ、**2022年1～3月期もBSI値19.2**とプラス幅が拡大するなど、**先行きの景況感は改善が続く見込み**。

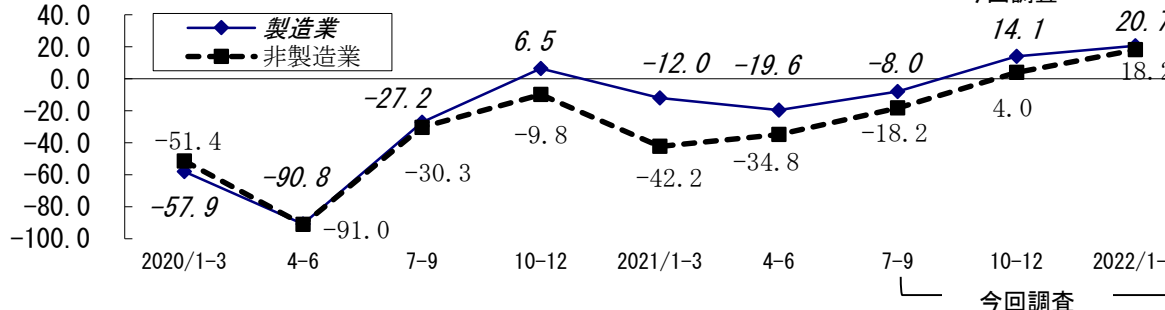
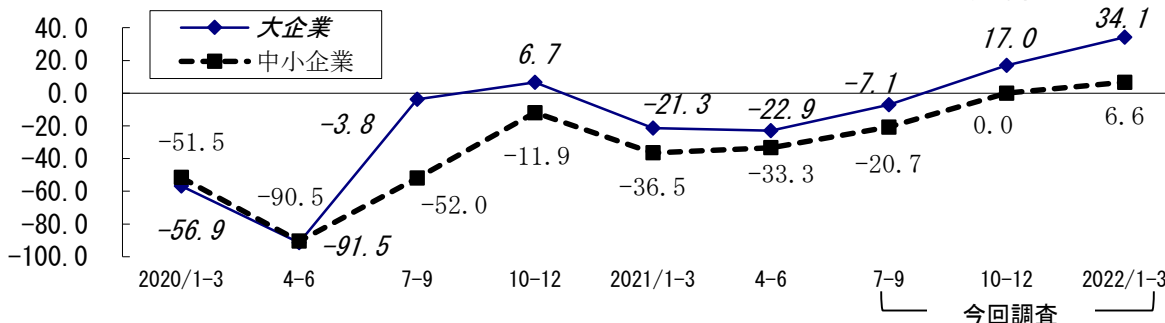
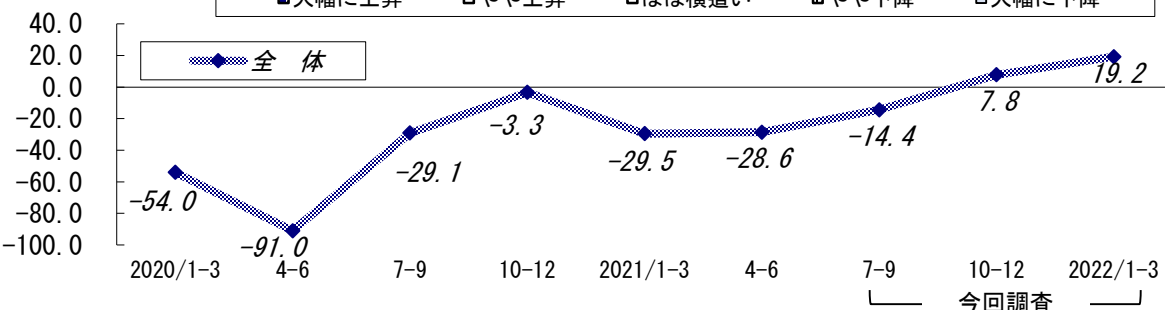
<規模別>

足もと（7～9月期）のBSI値は、**大企業で▲7.1と3期連続のマイナス**。**中小企業はBSI値▲20.7と11期連続のマイナス**。

先行きのBSI値は、大企業は10～12月期にプラスに転じ、22年1～3月期はプラス幅が拡大する見込み。中小企業は10～12月期に横ばい、22年1～3月期はプラスとなる見込み。

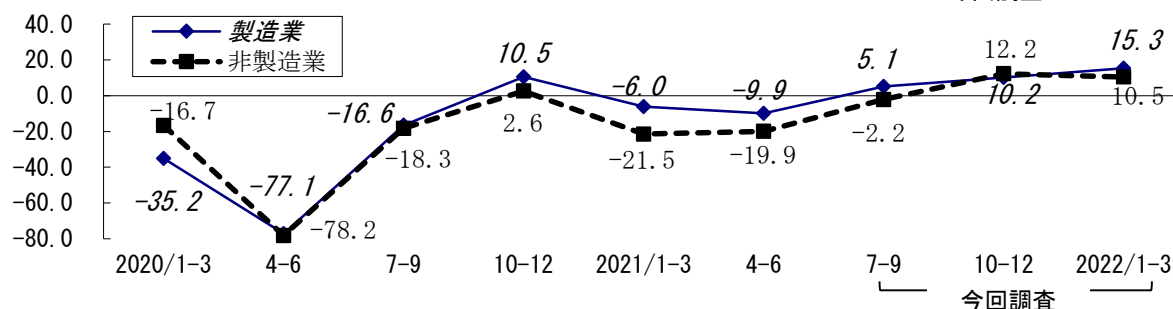
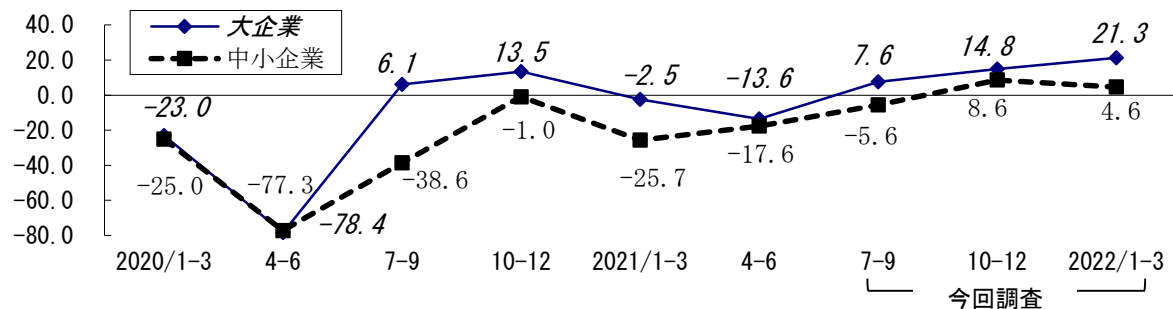
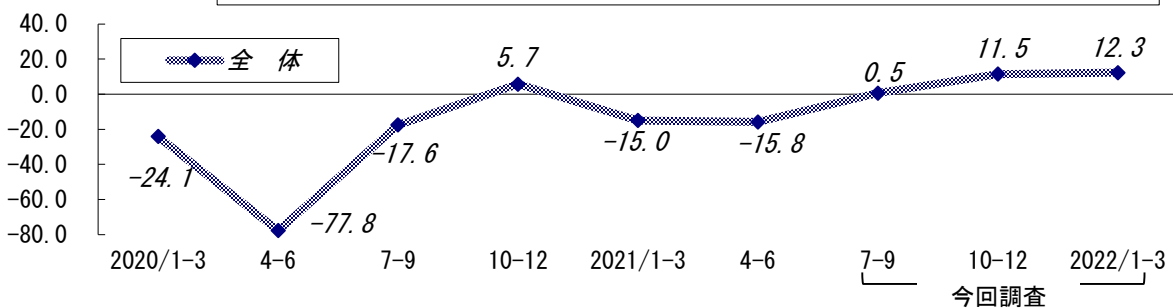
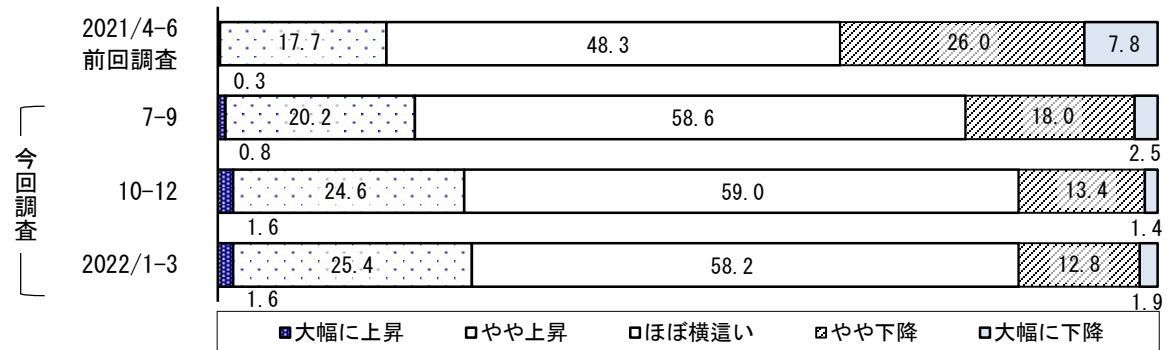
<業種別>

足もとのBSI値は、製造業、非製造業ともにマイナス幅が縮小し、先行き10～12月期にプラスに転じ、22年1～3月期にかけてプラス幅が拡大する見込み。



2. 自社業況 総合判断

－3期ぶりのプラス。先行きは改善を見込む－



<足もと>

2021年7～9月期における自社業況の総合判断は、前期と比べ「上昇」と見る回答が21.0%、「下降」と見る回答は20.4%。

この結果、**BSI値は0.5と、3期ぶりのプラス**となった。

<先行き>

先行き**10～12月期はBSI値11.5、2022年1～3月期もBSI値12.3**と2桁のプラスとなり、**先行きの業況は改善が続く見込み**。

<規模別>

大企業は足もと（7～9月期）のBSI値が7.6と3期ぶりのプラスに転じ、先行きもプラス幅が拡大する見込み。

一方、中小企業は足もとのBSI値が▲5.6とマイナス圏を推移するも、先行き10～12月期には8.6とプラスに転じ、22年1～3月期もプラス圏を推移する見込み。

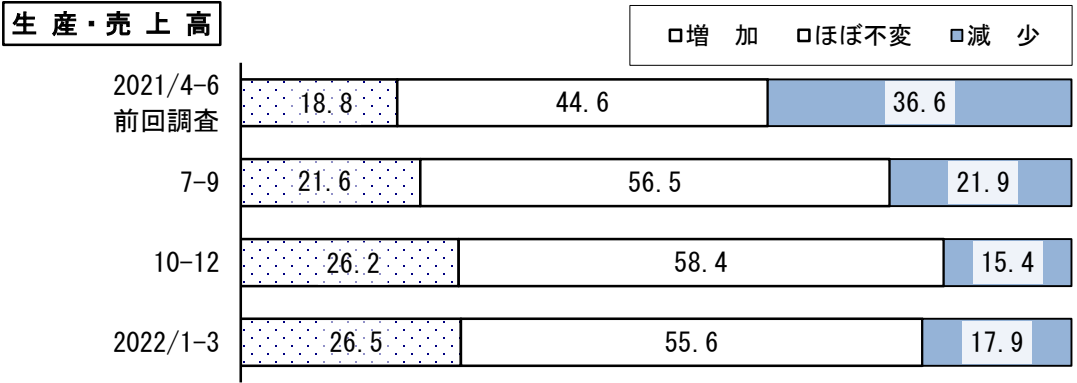
<業種別>

足もとは、製造業のBSI値が5.1とプラスに転じる一方、非製造業は▲2.2とマイナス幅は一桁まで縮小し、引き続きマイナス圏を推移する見込み。

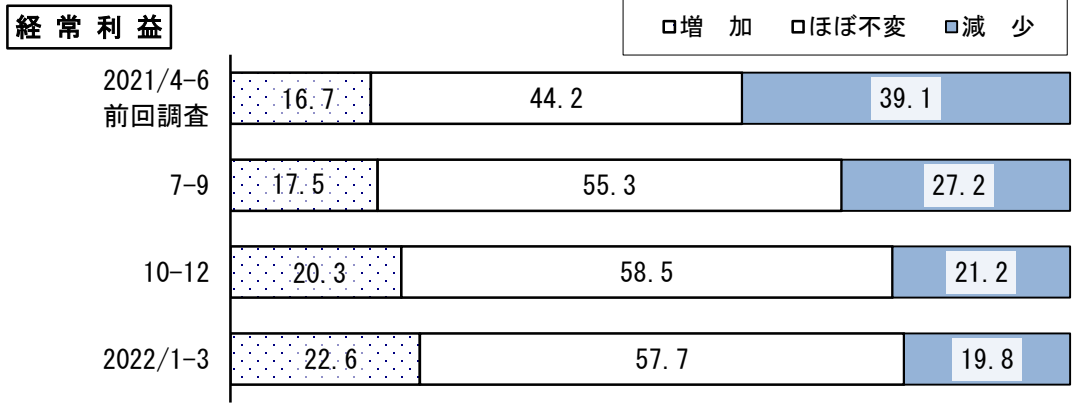
先行きは、製造業、非製造業ともにプラス圏を推移する見込み。

3. 自社業況 個別判断

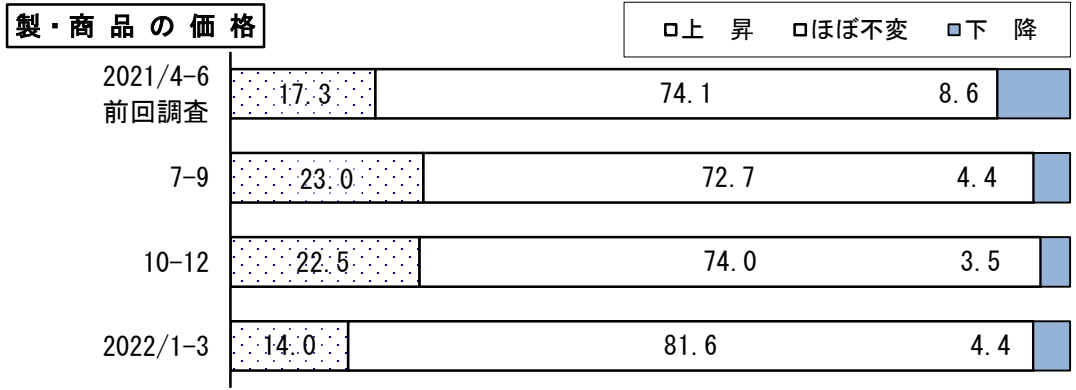
ー 生産・売上高は3期連続のマイナス、経常利益は8期連続のマイナス ー



＜生産・売上高＞
足もと（7～9月期）のBSI値は▲0.3となり、3期連続のマイナス。
先行きは10～12月期（10.8）にプラスに転じ、2022年1～3月期（8.5）もプラス圏を推移する見込み。



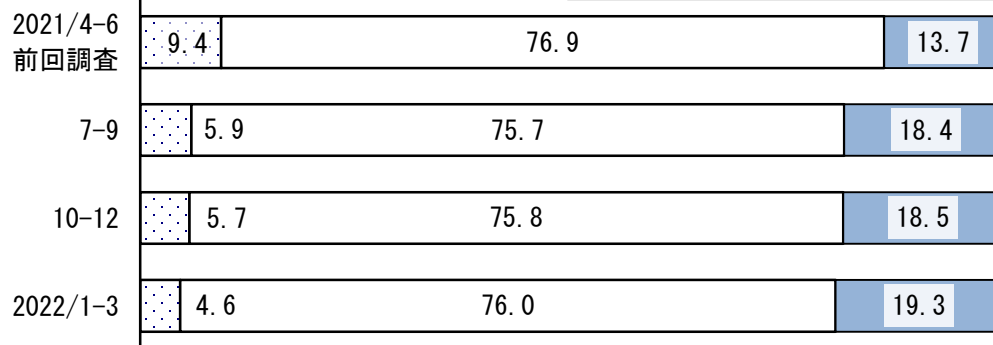
＜経常利益＞
足もとのBSI値は▲9.7となり、8期連続のマイナス。先行き10～12月期（▲0.8）はマイナスが続くものの、22年1～3月期（2.8）にはプラスに転じる見込み。



＜製・商品の価格＞
足もとのBSI値は18.6と、4～6月期実績（8.6）と比べ10ポイントの上昇となり、先行き10～12月期もBSI値19.0と大幅な上昇が継続する見込み。22年1～3月期はBSI値9.6と上昇局面が続くものの、上昇幅は縮小する見込み。

雇用判断

□過 剩 □ほぼ適正 □不 足

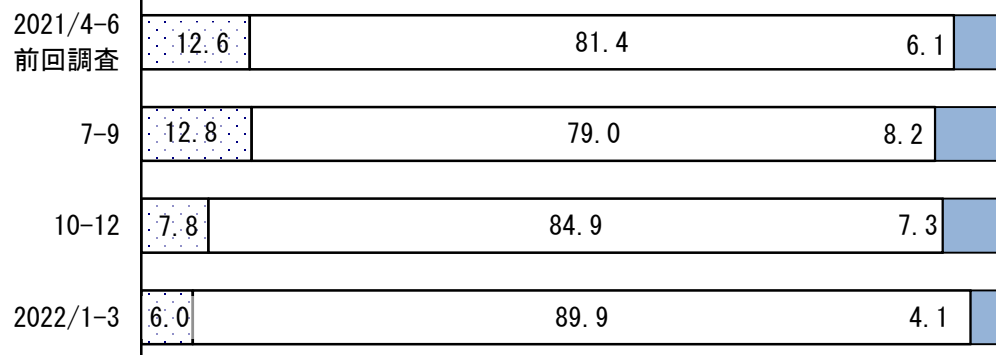


＜雇用判断＞

足もと（7～9月期）のBSI値は▲12.4と4～6月期実績（▲4.3）に比べ、マイナス幅が拡大。先行きは10～12月期（▲12.8）、2022年1～3月期（▲14.7）と不足感が強まる見込み。

製・商品在庫

□過 剩 □ほぼ適正 □不 足

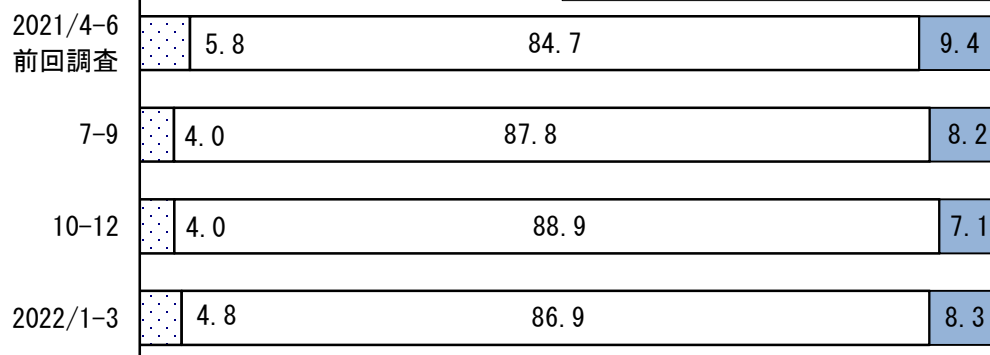


＜製・商品在庫＞

足もとのBSI値は4.6と過剰局面が続く。他方、「ほぼ適正」とする回答割合が足もとでは8割弱、先行き10～12月期は8割台半ば、22年1～3月期は9割弱に拡大するなど、在庫は適正に向かう見込み。

資金繰り

□改 善 □ほぼ不変 □悪 化



＜資金繰り＞

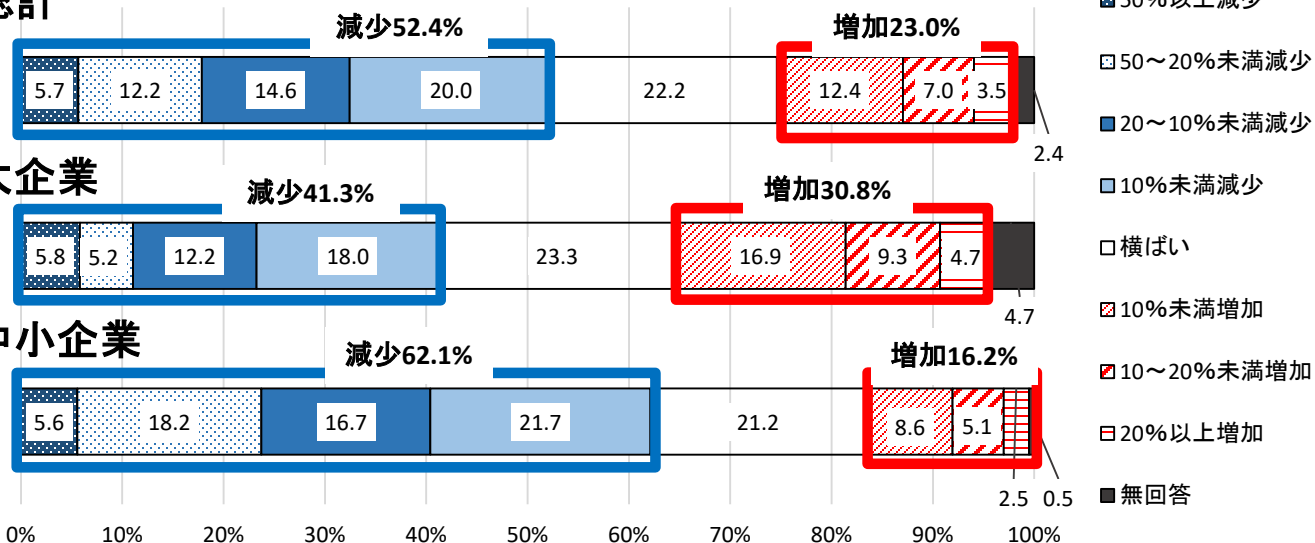
足もとのBSI値は▲4.2と3期連続のマイナス。先行き10～12月期（▲3.1）、22年1～3月期（▲3.4）と「悪化超過」局面が続く見込み。

4. 新型コロナウイルス感染症拡大前と比較した売上水準について

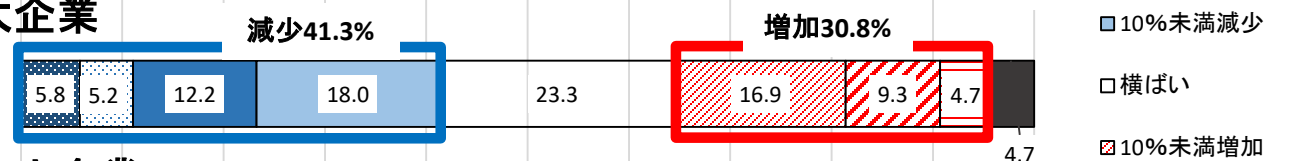
2019年7～9月期と比較した現在の売上水準（単数回答）

－5割超の企業が減少。企業規模により状況に差がみられる

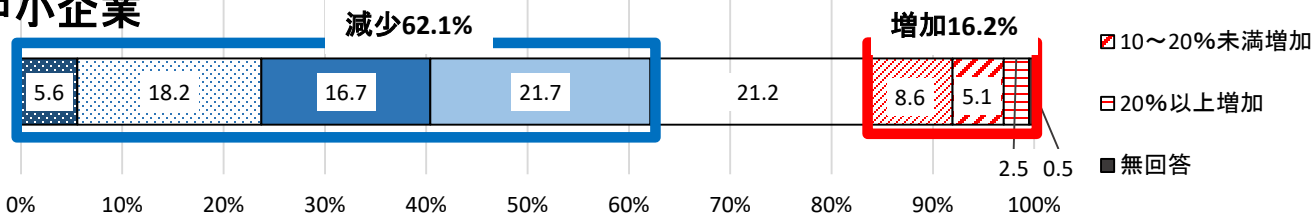
総計



大企業



中小企業



		総計	減少	50%以上減少	50～20%未満減少	20～10%未満減少	10%未満減少	横ばい	増加	10%未満増加	10～20%未満増加	20%以上増加	無回答
総計	件数	370	194	21	45	54	74	82	85	46	26	13	9
	構成比	100.0	52.4	5.7	12.2	14.6	20.0	22.2	23.0	12.4	7.0	3.5	2.4
大企業	件数	172	71	10	9	21	31	40	53	29	16	8	8
	構成比	100.0	41.3	5.8	5.2	12.2	18.0	23.3	30.8	16.9	9.3	4.7	4.7
中小企業	件数	198	123	11	36	33	43	42	32	17	10	5	1
	構成比	100.0	62.1	5.6	18.2	16.7	21.7	21.2	16.2	8.6	5.1	2.5	0.5
製造業	件数	137	64	5	11	19	29	32	40	24	12	4	1
	構成比	100.0	46.7	3.6	8.0	13.9	21.2	23.4	29.2	17.5	8.8	2.9	0.7
非製造業	件数	233	130	16	34	35	45	50	45	22	14	9	8
	構成比	100.0	55.8	6.9	14.6	15.0	19.3	21.5	19.3	9.4	6.0	3.9	3.4

●2019年7～9月期（新型コロナウイルス感染症拡大前）と比較した現在の売上水準について尋ねたところ、**5割超（52.4%）の企業が減少**と回答。

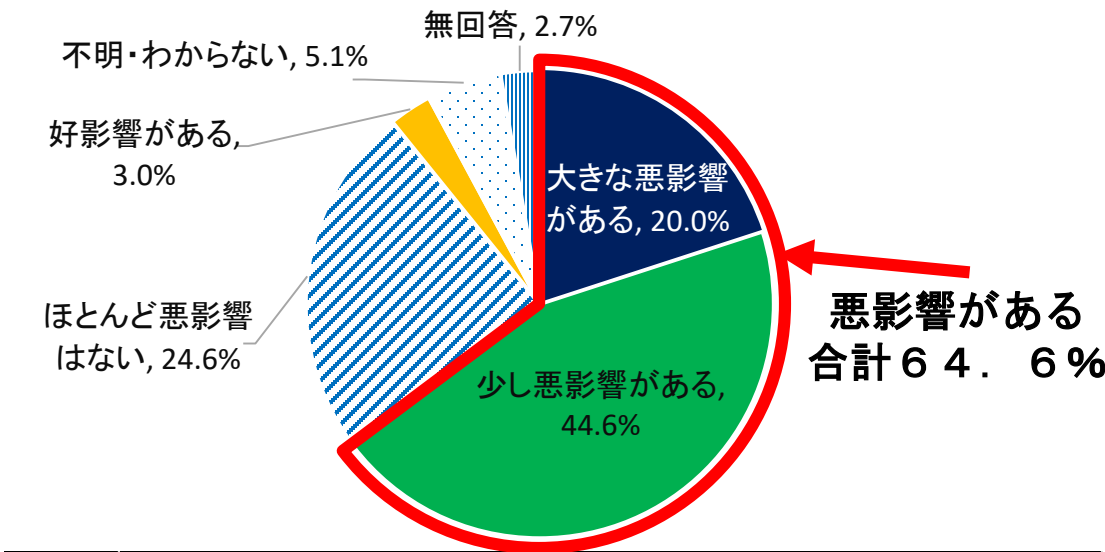
一方、2割強（23.0%）の企業は、増加と回答。

●規模別では、減少との回答割合が、大企業で4割超（41.3%）、中小企業では6割超（62.1%）となった。また、増加との回答割合は、大企業で3割超（30.8%）、中小企業では1割台半ば（16.2%）で、**企業規模により状況に差が見られる**。

●業種別では、減少との回答割合が、製造業で4割台半ば（46.7%）、非製造業で5割台半ば（55.8%）となった。また、増加との回答割合は、製造業では3割弱（29.2%）、非製造業では2割弱（19.3%）となった。

5. 原材料・資源価格の高騰、物流コスト上昇の影響について

(1) 経営への影響について (単数回答)
- 「悪影響がある」企業が3社に2社 (「大きな悪影響がある」、「少し悪影響がある」の合計)



●原材料価格（非鉄金属、鋼材、木材等）や資源価格（原油、天然ガス、鉄鉱石等）の高騰による仕入れコストの上昇、物流コスト等の上昇の経営への影響について尋ねたところ、「大きな悪影響がある」と回答した企業は2割（20.0%）、「少し悪影響がある」は4割台半ば（44.6%）となり、合わせて3社に2社（64.6%）が「悪影響がある」と回答。

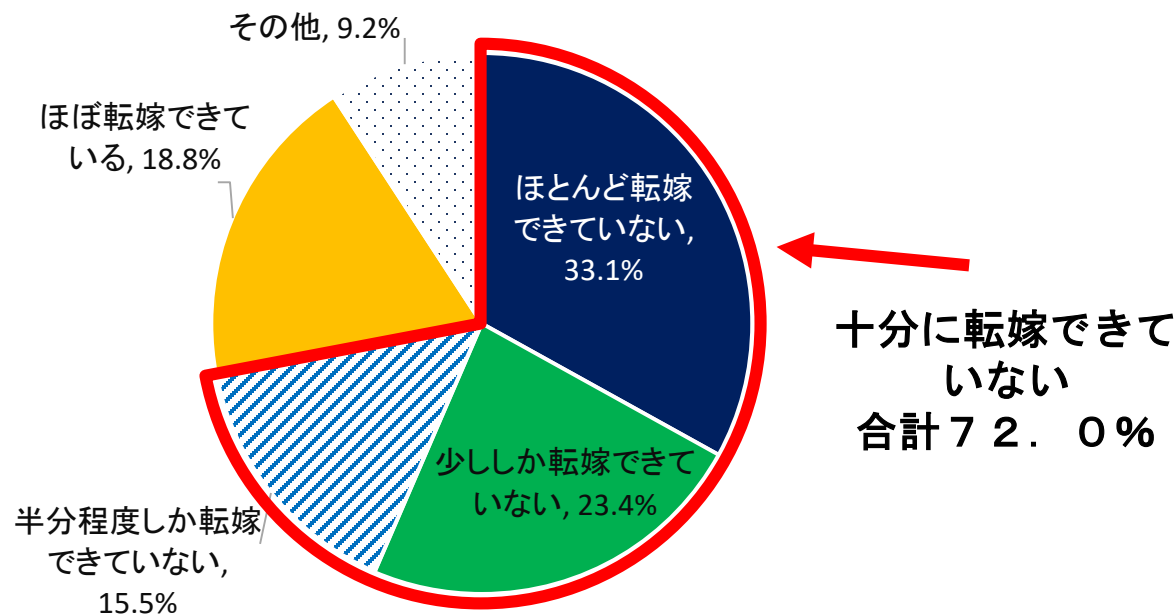
●規模別では、中小企業で「悪影響がある」と回答した企業が7割強（73.2%）に上り、大企業（54.7%）に比べ、「悪影響がある」との回答割合が高い。

●業種別では、製造業で「悪影響がある」と回答した企業が9割弱（87.6%）に上り、非製造業（51.1%）に比べ、「悪影響がある」との回答割合が高い。

		総 計	悪影響がある	大きな悪影響がある	少し悪影響がある	ほとんど悪影響はない	好影響がある	不明・わからない	無回答
総 計	件数	370	239	74	165	91	11	19	10
	構成比	100.0	64.6	20.0	44.6	24.6	3.0	5.1	2.7
大企業	件数	172	94	27	67	50	8	12	8
	構成比	100.0	54.7	15.7	39.0	29.1	4.7	7.0	4.7
中小企業	件数	198	145	47	98	41	3	7	2
	構成比	100.0	73.2	23.7	49.5	20.7	1.5	3.5	1.0
製造業	件数	137	120	47	73	14	2	1	0
	構成比	100.0	87.6	34.3	53.3	10.2	1.5	0.7	0.0
非製造業	件数	233	119	27	92	77	9	18	10
	構成比	100.0	51.1	11.6	39.5	33.0	3.9	7.7	4.3

5. 原材料・資源価格の高騰、物流コスト上昇の影響について

(2) 価格転嫁の状況について (「悪影響がある」と回答した企業239社、単数回答)
— 十分に転嫁できていない企業が7割超



●原材料・資源価格の高騰、物流費の上昇分の価格転嫁の状況について尋ねたところ、「ほとんど転嫁できていない」(33.1%)、「少ししか転嫁できていない」(23.4%)、「半分程度しか転嫁できていない」(15.5%)を合わせて7割超(72.0%)が十分に転嫁できていないと回答。
他方、「ほぼ転嫁できている」との回答は2割弱(18.8%)。

		総 計	ほとんど転嫁できていない	少ししか転嫁できていない	半分程度しか転嫁できていない	ほぼ転嫁できている	その他
総計	件 数	239	79	56	37	45	22
	構成比	100.0	33.1	23.4	15.5	18.8	9.2
大企業	件数	94	28	19	19	17	11
	構成比	100.0	29.8	20.2	20.2	18.1	11.7
中小企業	件数	145	51	37	18	28	11
	構成比	100.0	35.2	25.5	12.4	19.3	7.6
製造業	件数	120	42	34	20	15	9
	構成比	100.0	35.0	28.3	16.7	12.5	7.5
非製造業	件数	119	37	22	17	30	13
	構成比	100.0	31.1	18.5	14.3	25.2	10.9

【参考－BSI値の推移】

回数・時期		国内景気					自社業況					回数・時期		国内景気					自社業況				
		足もと			3ヵ月後	6ヵ月後	足もと			3ヵ月後	6ヵ月後			足もと			3ヵ月後	6ヵ月後					
		全体	大企業	中小企業			全体	大企業	中小企業					全体	大企業	中小企業							
1	2001年3月	▲56.4	▲57.6	▲55.3	▲33.1	▲9.8	▲21.6	▲7.6	▲34.7	▲17.7	▲0.9	43	2011年9月	▲9.5	9.7	▲23.4	2.0	5.7	▲8.0	9.2	▲20.4	8.0	2.1
2	2001年6月	▲44.2	▲42.2	▲46.2	▲23.5	6.7	▲31.7	▲26.8	▲36.4	▲6.8	9.5	44	2011年12月	▲26.4	▲22.2	▲29.8	▲17.2	0.0	▲9.4	▲3.8	▲13.7	▲10.4	2.1
3	2001年9月	▲78.6	▲81.8	▲75.3	▲58.1	▲37.7	▲44.8	▲38.6	▲51.1	▲27.9	▲21.7	45	2012年3月	▲8.5	▲0.9	▲14.7	14.3	17.2	▲12.2	▲7.3	▲16.1	1.0	10.1
4	2001年12月	▲69.8	▲72.8	▲67.0	▲59.3	▲26.8	▲38.4	▲40.7	▲36.4	▲30.9	▲17.4	46	2012年6月	▲4.9	6.3	▲14.6	▲4.7	17.4	▲8.1	▲2.9	▲12.5	5.2	19.0
5	2002年3月	▲66.1	▲63.9	▲68.0	▲33.7	▲11.5	▲37.6	▲32.6	▲42.0	▲20.1	▲3.2	47	2012年9月	▲9.9	▲0.5	▲17.6	3.2	2.8	▲5.5	3.3	▲12.5	11.7	1.1
6	2002年6月	▲7.0	4.5	▲17.8	6.4	31.0	▲19.9	▲12.9	▲26.3	▲2.5	15.6	48	2012年12月	▲40.5	▲44.0	▲37.6	▲20.0	▲3.0	▲8.4	▲7.6	▲9.0	▲12.3	▲4.6
7	2002年9月	▲19.0	▲10.3	▲27.9	▲4.4	2.0	▲15.8	▲4.9	▲26.8	▲5.5	▲3.1	49	2013年3月	22.0	32.3	13.0	37.7	38.0	▲1.7	9.8	▲11.6	7.9	24.5
8	2002年12月	▲39.0	▲40.5	▲37.5	▲40.5	16.1	▲7.9	▲6.0	▲9.8	▲18.8	▲10.8	50	2013年6月	45.8	54.5	36.6	47.4	43.6	8.2	10.3	6.1	20.5	24.9
9	2003年3月	▲40.3	▲40.2	▲40.3	▲26.7	▲12.8	▲16.9	0.0	▲32.3	▲19.1	▲7.2	51	2013年9月	32.8	42.8	22.7	37.3	35.3	8.0	21.3	▲5.5	22.9	16.3
10	2003年6月	▲36.0	▲33.2	▲38.2	▲26.1	▲5.0	▲25.1	▲23.9	▲26.1	▲10.9	4.3	52	2013年12月	47.6	58.3	38.9	47.0	▲5.6	22.8	29.9	17.0	19.3	▲4.9
11	2003年9月	6.1	17.3	▲3.9	20.8	16.8	▲5.2	6.3	▲15.5	13.2	7.8	53	2014年3月	50.4	59.1	42.7	▲31.3	26.9	20.2	30.2	11.3	▲18.8	16.6
12	2003年12月	27.1	29.7	24.6	16.6	27.5	12.3	11.3	13.1	3.5	6.6	54	2014年6月	▲27.6	▲31.6	▲23.8	33.4	37.6	▲18.4	▲19.5	▲17.4	14.8	23.6
13	2004年3月	30.7	37.1	25.5	37.0	32.9	5.5	17.5	▲4.4	8.1	13.0	55	2014年9月	17.1	35.2	1.2	27.4	17.8	4.5	18.7	▲7.7	17.8	15.1
14	2004年6月	40.5	51.0	31.5	34.6	35.6	6.8	16.2	▲1.1	18.3	22.3	56	2014年12月	6.4	13.0	0.4	4.5	14.2	9.4	13.1	6.1	3.9	3.0
15	2004年9月	35.0	46.2	24.5	29.3	15.0	14.0	20.7	7.9	15.2	5.7	57	2015年3月	18.2	30.7	7.5	23.8	26.2	8.2	21.1	▲2.8	4.2	16.7
16	2004年12月	13.5	14.5	12.4	▲9.6	4.5	7.1	12.2	2.4	4.8	4.6	58	2015年6月	21.0	32.7	10.6	25.4	28.2	▲2.4	2.3	▲6.5	16.0	22.3
17	2005年3月	▲10.0	▲5.7	▲13.4	5.5	15.7	▲3.0	10.0	▲13.6	3.2	16.5	59	2015年9月	10.0	18.4	2.7	16.0	13.1	4.7	15.4	▲4.3	17.0	13.0
18	2005年6月	9.2	13.2	4.9	12.9	28.2	▲1.1	3.4	▲5.8	11.0	19.9	60	2015年12月	4.9	7.0	3.1	0.0	10.0	7.5	10.2	5.2	7.3	▲0.7
19	2005年9月	24.0	31.3	18.1	27.6	23.0	4.1	10.9	▲1.6	18.8	16.8	61	2016年3月	▲28.1	▲23.9	▲31.9	▲7.8	2.1	▲2.8	1.0	▲6.2	4.3	8.4
20	2005年12月	47.5	53.5	41.7	38.8	36.3	16.9	26.6	7.8	20.5	13.9	62	2016年6月	▲18.6	▲12.8	▲23.7	▲6.1	5.2	▲10.9	▲14.9	▲7.5	4.5	15.1
21	2006年3月	40.7	46.6	35.9	46.5	39.8	14.3	17.8	11.3	15.4	19.9	63	2016年9月	▲13.6	▲6.9	▲19.3	2.0	1.6	▲3.8	5.5	▲11.4	7.0	5.4
22	2006年6月	41.1	53.4	29.5	39.0	30.6	7.4	16.9	▲1.6	20.0	25.1	64	2016年12月	4.8	6.7	3.0	1.0	3.6	6.3	10.4	2.5	5.1	▲1.3
23	2006年9月	35.3	48.1	24.3	34.5	18.7	8.4	25.2	▲6.1	22.7	14.4	65	2017年3月	8.6	18.4	0.0	13.8	15.4	3.8	16.6	▲7.1	6.5	15.5
24	2006年12月	30.2	40.0	22.5	15.5	15.6	20.7	26.9	15.9	13.0	12.8	66	2017年6月	14.0	23.9	5.2	15.5	22.1	5.0	5.9	4.2	12.1	19.7
25	2007年3月	20.4	31.6	13.9	29.7	24.9	7.3	14.7	3.0	16.0	20.9	67	2017年9月	18.1	24.5	12.8	22.0	16.3	8.9	18.4	0.9	20.7	13.5
26	2007年6月	15.1	27.8	6.9	19.8	22.0	▲0.2	2.7	▲2.0	15.5	24.7	68	2017年12月	40.7	42.0	39.5	25.7	21.3	22.3	26.5	18.5	18.1	5.3
27	2007年9月	3.6	15.3	▲3.4	13.5	10.2	▲1.2	5.7	▲5.4	11.6	12.1	69	2018年3月	19.5	23.8	15.4	21.6	21.1	12.2	24.3	0.5	7.0	13.1
28	2007年12月	▲15.9	▲9.5	▲19.7	▲22.1	▲10.1	3.7	4.5	3.3	▲2.0	▲0.2	70	2018年6月	18.5	20.4	16.7	23.2	22.6	2.3	▲2.7	6.7	18.7	21.9
29	2008年3月	▲43.9	▲39.2	▲46.6	▲35.1	▲18.8	▲15.6	▲1.4	▲24.1	▲12.9	▲2.6	71	2018年9月	12.3	13.6	11.3	18.0	12.9	5.9	5.9	5.9	17.3	11.4
30	2008年6月	▲48.6	▲49.3	▲48.2	▲44.6	▲32.4	▲22.6	▲20.7	▲23.6	▲17.5	▲6.9	72	2018年12月	16.2	15.9	16.5	1.9	12.1	13.3	11.7	14.9	9.9	2.7
31	2008年9月	▲66.2	▲64.1	▲67.6	▲55.8	▲42.2	▲27.9	▲21.1	▲32.2	▲17.7	▲17.4	73	2019年3月	▲5.5	▲0.6	▲10.0	3.9	11.5	2.2	6.4	▲1.6	▲3.4	9.0
32	2008年12月	▲83.1	▲87.8	▲80.1	▲78.4	▲56.9	▲41.7	▲45.0	▲39.7	▲42.4	▲33.4	74	2019年6月	▲20.7	▲16.2	▲24.9	▲10.7	▲25.2	▲8.8	▲13.0	▲5.0	7.7	▲0.5
33	2009年3月	▲87.9	▲90.7	▲86.1	▲65.3	▲39.2	▲63.9	▲63.8	▲63.9	▲52.6	▲36.2	75	2019年9月	▲15.4	▲12.4	▲18.4	▲33.4	▲15.6	3.0	3.3	2.7	▲1.9	3.0
34	2009年6月	▲42.2	▲24.1	▲52.5	▲19.6	8.5	▲46.5	▲39.1	▲50.7	▲23.0	▲1.3	76	2019年12月	▲27.9	▲27.5	▲28.4	▲8.3	▲3.3	▲8.9	▲4.2	▲12.9	2.8	▲5.3
35	2009年9月	▲16.6	2.0	▲27.6	▲5.0	1.7	▲24.4	▲10.1	▲32.9	▲11.1	▲10.2	77	2020年3月	▲54.0	▲56.9	▲51.5	▲32.4	1.1	▲24.1	▲23.0	▲25.0	▲21.8	▲2.8
36	2009年12月	▲16.8	▲7.1	▲23.1	▲23.6	▲5.4	▲14.2	1.0	▲23.8	▲23.6	▲16.8	78	2020年6月	▲91.0	▲91.5	▲90.5	▲39.5	▲15.4	▲77.8	▲78.4	▲77.3	▲37.5	▲19.2
37	2010年3月	▲9.9	4.7	▲18.8	▲1.4	8.6	▲19.3	▲4.3	▲28.4	▲12.2	0.2	79	2020年9月	▲29.1	▲3.8	▲52.0	▲20.4	▲17.4	▲17.6	6.1	▲38.6	▲12.2	▲13.5
38	2010年6月	4.5	23.4	▲7.7	5.3	18.7	▲6.5	8.3	▲16.2	▲0.2	12.8	80	2020年12月	▲3.3	6.7	▲11.9	▲16.3	12.0	5.7	13.5	▲1.0	▲9.8	▲5.8
39	2010年9月	▲17.1	▲3.8	▲25.9	▲20.2	▲17.0	▲10.6	▲0.5	▲17.2	▲6.3	▲10.0	81	2021年3月	▲29.5	▲21.3	▲36.5	13.9	22.8	▲15.0	▲2.5	▲25.7	▲4.6	4.3
40	2010年12月	▲18.5	▲12.5	▲22.3	▲15.9	3.7	▲9.9	▲3.5	▲13.8	▲14.4	▲0.2	82	2021年6月	▲28.6	▲22.9	▲33.3	0.8	20.4	▲15.8	▲13.6	▲17.6	▲0.8	9.5
41	2011年3月	5.3	11.7	1.1	6.9	9.8	▲1.6	3.4	▲4.8	1.4	5.0	83	2021年9月	▲14.4	▲7.1	▲20.7	7.8	19.2	0.5	7.6	▲5.6	11.5	12.3
42	2011年6月	▲57.1	▲58.1	▲56.5	▲13.0	17.0	▲24.4	▲26.3	▲23.4	▲9.2	10.7												

国内景気判断と自社業況判断の推移

